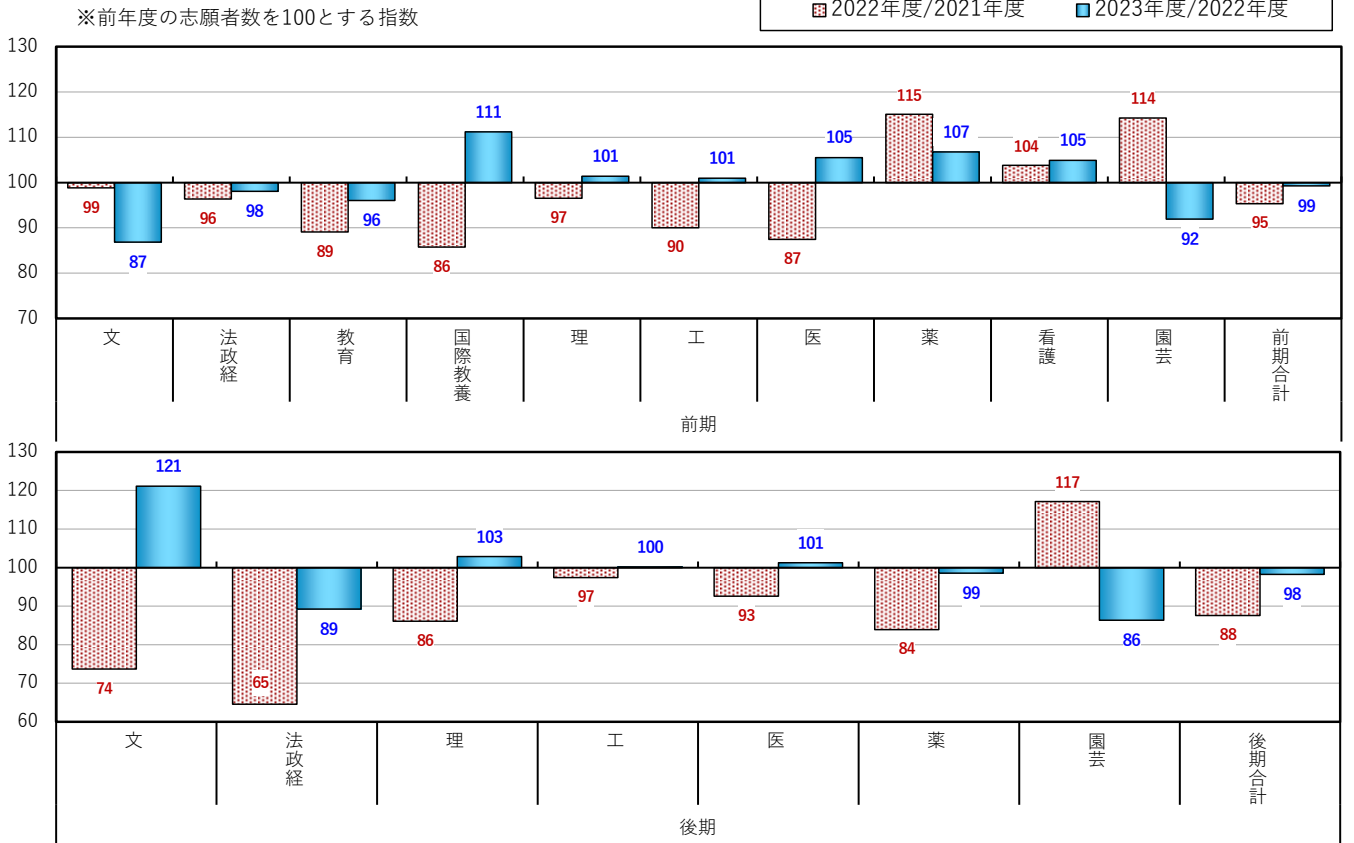


千葉大：前後期ともに微減だが、大学全体の志願者数は1万人台を維持 前期：-45人 後期：-79人



**主な入試変更点** 選抜方法：教育(学校教員養成/英語教育)<前>  
 …英語外部試験パターン変更 得点加算(10点加算、20点加算、満点換算)→得点加算(20点加算、30点加算)  
 個別試験：園芸(緑地環境)<前>  
 …理の選択から地学除外 数+理2+外 ※理：(物 or 化 or 生 or 地)→2→数+理2+外 ※理：(物 or 化 or 生)→2

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、124人(99)の微減だが2年連続減少、志願者数は1万人台を維持。日程別では、前期は45人(99)の微減だが2年連続減少、後期も79人(98)の微減で前期同様に2年連続減少。

<前期日程>

- 文(87)**は、減少で3年連続減少。コース別では、4コース全て減少。特に(人文/日本・ユーラシア文化)(75)は大幅減少で志願者数は100人だった。(人文/国際言語文化学)(81)は2年連続大幅減少。
- 法政経(98)**は、微減だが3年連続減少。志願者数は2018年度以降900人台が継続。
- 教育(96)**は、やや減少で2年連続減少。課程・コース・分野別では、14募集単位中8募集単位が減少。(学校教員養成/特別支援教育)(157)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(学校教員養成/小中専門教科-家庭科教育)(118)、(学校教員養成/中学校-社会科教育)(118)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(学校教員養成/中学校-技術科教育)(53)、(学校教員養成/乳幼児教育)(55)、(学校教員養成/小中専門教科-図画工作・美術科教育)(67)、(学校教員養成/英語教育)(76)、(学校教員養成/小中専門教科-保健体育科教育)(84)はいずれも大幅減少。
- 国際教養(111)**は、2021年度に現行の募集方法になって以降では初の増加。志願者数は300人を上回った。
- 理(101)**は、前年度並、2021年度から志願者数の大きな変動はない。学科別では、(生物)(129)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(化)(105)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(数学・情報数理)(91)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 工(101)**は前年度減少の反動はなく、前年度並。コース別では、9コース中6コースが減少。(総合工/物質科学)(222)は前年度約3分の1の激減の反動で倍以上。一方で、(総合工/デザイン)(85)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 医(105)**は、前年度減少の反動は小さくやや増加。募集単位別では、<一般枠>(114)は前年度大幅減少の反動で増加、<千葉県地域枠>(75)は前年度激増の反動で大幅減少と対照的。なお、2段階選抜が<一般枠>のみで実施され、第1段階選抜の合格率は84.0%だった。
- 薬(107)**は、系統への高い人気から、やや増加で3年連続増加。志願倍率も5.9倍→6.3倍へアップ。
- 看護(105)**は、2年連続やや増加。
- 園芸(92)**は、前年度増加の反動で減少。学科別では、4学科中3学科が減少で、特に(応用生命化)(69)は2年連続大幅減少で3年連続減少、(園芸)(89)は2年連続大幅増加の反動で減少。一方で、(緑地環境)(106)は2年連続やや増加。

<後期日程>

- 文(121)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。募集を行う2学科は、(人文/行動科学)(128)が大幅増加、(人文/歴史

学)(107)はやや増加。

- 法政経(89)は、前年度大幅減少に引き続き2年連続減少。志願倍率も10.6倍→9.5倍にダウン。
- 理(103)は、やや増加。学科別では、5学科中3学科が減少。(生物)(147)は大幅増加で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。一方で、(地球科学)(67)は2年連続増加の反動で大幅減少、(化)(83)は2年連続大幅減少。
- 工(100)は、前年度並。コース別では、7コース中5コースが増加。特に、(総合工/電気電子工学)(115)は3年連続大幅増加。一方で、(総合工/情報工学)(87)は2年連続減少。
- 医(101)は、地域枠を廃止して2年目だが、前年度並。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は59.9%だった。
- 薬(99)は、4年制の(薬科学)のみの募集だが、前年度大幅減少の反動はなく微減。志願倍率は3年連続で20倍を上回った。
- 園芸(86)は、2年連続増加の反動で減少。学科別では、4学科全てが減少。特に(応用生命化)(72)は大幅減少で、志願倍率は18.6倍→13.3倍にダウン。